

八木研究室紹介

教授 八木文子(東京都出身)

専門 : 絵画・版画 / 地域デザイン

研究テーマ : Art × Design

「アートは自分のために、 デザインは皆のために」という認識は一般的ではありますが、現代のアートは他者(鑑賞者)が介入するかたちで行われるものが増えてきています。コンテンツ産業を意識したアートや、まちづくりを支援し、地域を活性化させるさまざまなアートは単なる自己表現のみだけで語られるアーティスト像とはかなり違ってきています。研究室では専門である版表現を軸とし、ジャンルを横断するオルタナティブな表現の振幅として気づきや発見をプラクティスの一手段としながら、多様な生成を方向付ける新しい空間のデザインをどのように生み出すのかを模索、研究します。アートのプロセスにある偶然性、即興性、葛藤などの試行錯誤はすでに確立されていると思い込んでいるアイデンティティやスノッブに陥りやすい環境から無意識に隠蔽された創造性を引き出す可能性があります。複雑多様化する社会の流動性を受け止めつつ、今日の地域デザインを設計・構想するためにアートとデザインの融合を試みます。デザインは皆のためにというところに依拠するのであれば、デザインは現在のアートの認識と画一した強みです。

社会との連携

- 2009 年度 Art project 『Session2009』 Session/project- もがみの地域活性化事業まちなかアートセッション 21 『ヤマダイのお造り session2009』
- 2010 年度 Art project 『Session2010』 やまがた社会貢献基金「やまがたまち並み作りサポート活動支援事業」学生・市民によるアートな商店街づくり事業—まちなかアートセッション 22 『ヤマダイのお造り session2010』
金山壁画プロジェクト レジデンスによる大型壁画滞在制作・小学校児童の制作体験、僻地教育
地域活性化アートプロジェクト magari Projectvol・2 七日町ノマド計画 『Session2010』 『ぼくらは街を遊牧する』
- 2011 年度 被災地仮設住宅での遊牧アクションとガリ版による移動新聞局
- 2012 年度 Art project 『Session2012』 『session2012 考えるカフェおつくりテッド』・温泉媒染ワークショップ
金山壁画プロジェクト レジデンスによる大型壁画滞在制作・小学校児童の制作体験、僻地教育
- 2013 年度 Art project 『Session2013』 『キトキト環境芸術祭』 × 『ヤマダイのお造り SESSION2013』

金山壁画プロジェクト レジデンスによる大型壁画滞在制作・小学校児童の制作体験、僻地教育

2014 年度 Art project 『Session2014』 Session/projectvol.5 Otsukuri2014 版画絵本作
作・金山市小学校へ寄贈

金山壁画プロジェクトレジデンスによる大型壁画滞在制作指・小学校児童の
制作体験、僻地教育

2015 年度 Art project 『Session2014』 Session/projectvol.5 Otsukuri2015 版画絵本作
作・金山市小学校へ寄贈

金山壁画プロジェクトレジデンスによる大型壁画滞在制作指導と小学校児童
の制作・僻地教育

中国观澜版画原创产业基地(Guanlan Original Printmaking Base)レジデンス
及び Print museum への作品寄贈

2016 年度 Art project 『Session2014』 Session/projectvol.5 Otsukuri2015 版画絵本作
作・指導 金山市小学校へ寄贈

2017 年度 Art project 『Session2014』 Session/projectvol.5 Otsukuri2015 『金山お面パ
レードプロジェクト』開催予定

研究（作品）



『十畳間』 2008

etching, mezzotint, aquatint, silkscreen, copper foil, coppergreen



『新幹線ツバサヨリ王子飛鳥山ヲノゾム』 2007

etching, mezzotint, aquatint, silkscreen, copperfoil, coppergreen



『nano melancholia』

2014

etching, mezzotint, aquatint, silkscreen, copperfoil, coppergreen

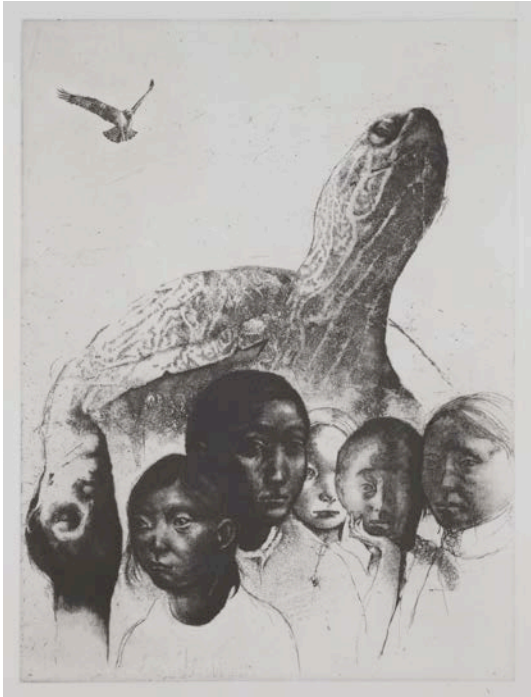


『かめとわたし-not cryー』 2014 テンペラ・油彩



『kiki・1』 2015

etching, mezzotint, aquatint



『ARK』 2015 etching, mezzotint, aquatint



『kiki・5』 2016 etching, mezzotint, aquatint

アートプロジェクト①

Art project 『Session2009』

Session/project- もがみの地域活性化事業まちなかアートセッション 21 『ヤマダイのお造り』

2009～2013

新庄駅前商店街空き店舗、新庄駅内などを活用し、複数のイベントを同時に開催。コミュニティカフェ、シャッターペインティング、インフォメーションセンター、フィールドワーク型ワークショップ、ストリートギャラリー、Radio お造り、まちなかセッションジャック、ドキュメント映像の上映など滞在制作で実施。その他、企画提案型パネルプレゼンテーションや温泉媒染による草木染めワークショップ、ランドアートコンペ、写真ワークショップ、オリジナル雑貨販売、食環境デザインコースとコラボレーションした“食”のワークショップなど。(主催/新庄市教育委員会・NPO 法人芸術振興市民ネット新庄 共催/新庄市商工観光課・新庄市商工会議所・新庄市商店街)



平成 21 年もがみの地域活性化支援事業

まちなかアートセッション 2 1

ヤマダイのお造り

session2009

9 月 19 日(土)～9 月 25 日(金)

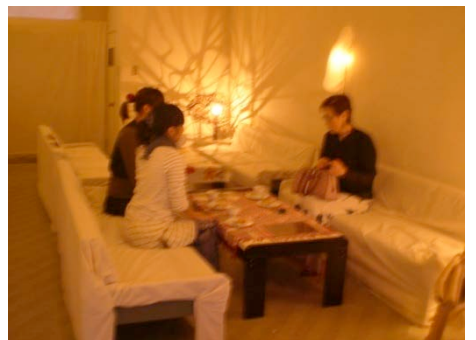
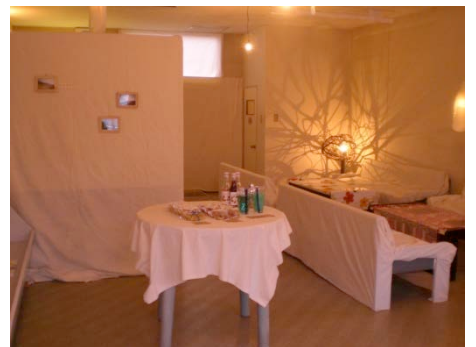
カフェ営業：10：00～16：00

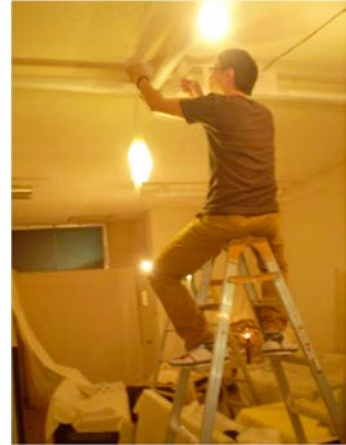
新庄駅前商店街店舗“かしわや靴店

新庄駅内スペース“ゆめりあ”

し、山形大学の学生がイベントの企画、運営を行う。商店街の空き店舗や駅周辺公共スペースを活用し、ブースを形成。各ブースで美術、音楽、パフォーマンス、ワークショップ等、ジャンルを越えた幅広い活動を行う。期間中は新庄駅前商店街の中の 4 店舗のシャッターや看板、ショウウィンドウにペイントをし、空き店舗内ではカフェの運営と「新庄駅前商店街を歩く」ということをテーマにした作品やフィールドワークを実施した。









アートプロジェクト②

Art project 『ぼくらは街を遊牧する』-まがり Project vol.2 七日町ノマド計画『Session2010』

2010

自作したゲル(=移動式住居)で百貨店テナントや公共施設など、複数店舗を「間借り」し、移動しながら7つのアクションを実施。ウチとソトの境界、創る人、見る人の一方通行を解体し、領域横断性の両立として展開する。電力、燃料を用いない技術による生活形態を提示し、場によって変化する人間の価値問題、現代人のコミュニケーション関係性を問う。まちなか滞在記、遊牧ドキュメンタリー、まちなか放牧中、ジャム・ウルトー・タニル(道・駅・出会う)、まがり印刷所、まちなかまがりカードなど。(文科省大学教育推進プログラム)



ぼくらは街を遊牧する
-まがり project vol.2 七日町ノマド計画-
2010年2月20日(土)~2月28日(日)
※開催時間は各店舗の営業時間によって異なります。

まがりproject 『ぼくらは街を遊牧する』は山形市七日町地域において山形大学造形芸術コース学生メンバーがこれからの新しい地域文化の創出、継承を目的に実践する地域発信型アートプロジェクトです。七日町の複数店舗を「まがり=間借り」し、学生が制作したゲル型移動式住居(ゲルとはモンゴル語で家、家族を意味します)で9日間移動しながら「まがり(=曲がり)」アクションを行います。地域を更に魅力的な場にしていくために、様々な交流を図ります。ゲルの移動そのものがアクションとなる「遊牧」スタイルは“away to homeにする”という概念として現代の生活スタイルに新しい視点をもたらします。そしてぼくらはこの街を遊牧し、ここをぼくらのhomeにしていきます。



7つのアクション 期間中下記のイベントを同時開催します。

- 1 『ぼくらは街を遊牧する』
移動予定地①2月20日(土)~21日(日)NANA BEANS ②22日(月)~23日(火)山形銀行 ③24日(水)~25日(木)some where... ④26日(金)~27日(土)at ⑤27日(日)セブンイレブン
※遊牧という関係上、変更する場合があります。
※24日、25日の2日はこの街の「まがり」をぜひ見てみてください。
※インフォメーションセンターとしてのために移動情報を公開しています。
※まがり印刷所の「まがり通信」にて移動情報及び現状報告を随時公開します。
- 2 『まちなか滞在記』
遊牧中での過程で、遊牧民(=わたしたち)が街、人と体験、交流します。七日町の各店舗に出向き、見る、歩く、食べる、話す、教えてもらうことを通して、この街をもっと身近な場所(=home)にしています。
- 3 『ぼくらはまを、ほんとうに遊牧する』(映像作品)
『まちなか滞在記』をドキュメント映像作品にする、まちなかドキュメンタリー。前半に本企画の制作ドキュメントが加わります。日々更新され、移動先のゲル内やショーウィンドウで放映していきます。
- 4 『まちなか放牧中』
七日町の各店舗のショーウィンドウに羊のオブジェを「放牧」します。羊は放牧しながら、ショーウィンドウをまがりし、「歩きたくなる街」を演出します。広報を兼ねたマスコットキャラクター的なオブジェ作品です。

- 5 『ジャム・ウルトー・タニル(道・駅・出会う)』
「ゲル」はモンゴル語で「家庭」「住む家」「内側」などの意味があります。モンゴルからの留学生がゲル内で会話し、モンゴル語のミルクティーを振る舞います。
- 6 『まがり印刷所』
まがりprojectの情報発信の場として、昔懐かしい「ガリ版」を用いて「まがり通信」(新聞)を、ゲルと共に移動しながら発行。ゲルの移動中に起こる出来事や学生視点の七日町情報などを記載、記事にし各店舗に配布します。
- 7 『まちなかまがりカード』
協力して頂くの飲食店のテーブルにゲル型のカードスタンドを設置し、まがり印刷所発行の「まがりカード」をはさんでお客さんにお渡します。お客さんの居場所と時間をほんのちよっと「まがり」し、「まがりカード」を贈っていただくことで、「ぼく」にする時間を提供します。
- 関連企画『山形大学造形芸術コース学外授業報告展』
七日町のサロン「なのか」にて、山形大学地域教育文化学部造形芸術コースで行われている各種アートイベントや工作教室、平清氷焼実習、企業との共同企画アスクのオブジェ制作の報告展を開催します。同時に、各アクションの情報を随時公開していきます。
本企画は文科省の大学教育推進プログラム教育改善支援の助成(90%助成)採択事業の一環で開催されます。協力: 山形大学 地域教育文化学部 文化創造学科 造形芸術コース 七日町商店街振興組合

クローゼングパーティー
2月28日(日) 17:00-
会場:ARC (旧399マート)
本企画のドキュメント映像の上映
ゲルの組立パフォーマンス等を行います。

まがりproject
まがりprojectとは、SESSION/projectの関連企画で、「まがり(間を借りる、曲がる)」をテーマとして、社会やアートに平和的介入を試みます。

SESSION/project
SESSION/projectとは、アーティスト同士のネットワークを通じて、ジャンル、世代を超えて“mission”することで生まれる人的交流と社会的影響・効果を目指すアートプロジェクトです。クリエイティブで構造的な作業の共演は、私達の創造力を豊かにし、その共鳴が化学変化にも似た“何か”を生み出し、世界の見方を変えて見せるかもしれません。

HP: <http://sessionproject.iki.dme.com/index.html>
お問い合わせ: sessionproject@gmail.com







アートプロジェクト③

Art project 『金山壁画プロジェクト』

2010～2014

金山町の地域活性化と文化保存を目的とする「町並み作り 100 年計画」関連事業。大型壁画滞在制作指導と小学校児童の制作体験、中田小学校児童僻地教育を行う。(金山町中田地区国道 13 号線主寝坂下ボックスカルパート内/総壁画面 縦 1.8m 横 21.6m/金山町教育委員会)







中田の情景 - 人々の暮らし営み・自
 山形大学 地域教育文化学部 文化創造学科 芸術芸術コース
 原真樹 真幸 松田 幸之助 志村 真以
 山本 麗香 伊藤 千聖 滝田 信也 藤原 ひとみ 文子



中田の情景 - 人々の暮らし営み・自然への祈り -
 山形大学 地域教育文化学部 文化創造学科 芸術芸術コース
 原真樹 真幸 松田 幸之助 志村 真以
 山本 麗香 伊藤 千聖 滝田 信也 藤原 ひとみ 文子



主窓坂の思い出、忘れゆく幼学の跡



制作：山形大学
川口裕理 佐藤智美
鈴木絵架 八木文子
協力：中田地区の子供たち
完成：平成26年10月25日

アートプロジェクト④

Art project 『Session2009』

Session/project vol.5 Otsukuri2014 『プロジェクト in 金山』

2014～2017

金山町の地域活性化と文化保存を目的とする版画絵本制作。金山市小学校、図書館へ寄贈。(金山町教育委員会)



